50th Annibersary
東京城東ロータリークラブ週報
国際ロータリー第2580地区

2016.　2. 22　第2333回例会

すべてを感謝し、新たな50年へ

東京城東ロータリークラブ会長　会田　博

例会日　毎週月曜日　12:30 ～ 13:30
例会場　〒 130-0013　墨田区錦糸1-2-2　TEL 5611-5511
東武ホテルレバント東京
事務局　〒 130-0013　墨田区錦糸1-1-5
TEL 5637-4605　FAX 5637-4611
事務局　天尾　文（伊藤）
E-mail　jyoto@club.email.ne.jp

会　長	会田　博	副会長	細谷貞治
幹　事	篠田秀樹	副幹事	兒玉正行
		会報委員長	須田雅之

R I 会長
K.R. ラビンドラン
第2580地区ガバナー
鈴木　喬
第2580地区幹事
坂田修一
ガバナー補佐：羽鳥貞雄
(東分区担当)
東分区幹事　：中川　剛
東分区副幹事：加藤和正

世界へのプレゼントになろう

本日の卓話

「人生全て感謝なり～武道から学ぶ～」

四恩会 会主
猪狩元秀 氏

2016/2/15(月)
「 100年目の創業～夢を語ろう～ 」
丸源飲料工業(株) 代表取締役
阿部貴昭　氏

ニコニコボックス

◎友人の杉田さんを見学にお連れ致しました。
よろしくお願い申し上げます。
横浜緑 RC 北原弘文 様

○阿部様、本日の卓話よろしくお願いします。
会田　博君・篠田秀樹君・細谷貞治君
兒玉正行君・重田敦史君・大塚伸也君
阿部　豊君・山田　昇君・池永憲明君
上條隆志君・相野　隆君・奈良康司君
山﨑富士夫君

○お祝いを頂いて。
大鳥居武司君・津覇好延君

小計￥50,000.-　累計￥1,907,000.-

2016年2月15日 例会報告

点　鐘	
ロータリーソング	『我等の生業』
ゲストスピーカー	1名
ゲスト及びビジター	2名
会員出席状況	50名中38名(出席率76.00%)
前々回訂正出席率	97.78%

※次週 2/29(月) は「特別休会」です。
例会はございません。

- 来月3月の受付当番 -
葉佐君/牧野君/宮﨑君/若井君/相野君

次回の卓話 (3/7)

「　未　定　」

第2580地区 パストガバナー
上野　操 氏

内容充実の為に、皆様からの投稿をお待ちしております！

▼▽▼▽▼▽▼▽▼▽▼▽▼▽▼▽▼▽▼▽▼▽▼▽

ＲＩニュース：2016. 2. 2

▲△▲△▲△▲△▲△▲△▲△▲△▲△▲△▲△

平和への道をさぐる　ロータリー世界平和会議

去る 1 月 15 日と 16 日、カリフォルニア州で、「ロータリー世界平和会議」（Rotary World Peace Conference）が開かれ、平和構築をめざす人や専門家が世界中から集まりました。会場となったサンバーナーディーノ郡の町オンタリオは、約 1 カ月半前、死者 14 名と負傷者 20 名以上の惨事となった銃乱射テロ事件の現場からそう遠くありません。期せずして、この事件が平和会議の重要性をさらに強める結果となりました。

サンバーナーディーノ郡行政官を務め、フォンタナ・ロータリークラブ（カリフォルニア州）の会員であるジャニス・ルサーフォードさんは、開会本会議で次のように述べました。

「今までにも増して、私たちが一体となって平和を築き、人びとの苦しみを和らげる必要があります。（中略）このことを世界中の地域社会に伝えようとする皆さんの努力に心から感謝します」。

この挨拶の後、ルサーフォードさんは 1 月 15 日を「サンバーナーディーノ郡の平和の日」とすることを宣言しました。

ロータリー会長主催会議の 1 回目として開かれたこの会議には、平和、教育、ビジネス、法律、医療など各分野のリーダー 150 人以上を含む計 1,500 人以上が出席。「教育を通じた平和の実現」「人身売買の撲滅」「紛争をなくすためにメディアが果たす役割」など、実践的な解決策をさぐる 100 以上の分科会とワークショップが行われました。

この会議について、K.R. ラビンドラン国際ロータリー会長は、「ロータリー会員がいかに平和構築に寄与できるかを示す例」と話します。

「政府や国連が平和を実現してくれるのを待っていてはいけません。平和は誰かが運んできてくれるものだと期待してはならないのです。（中略）平和とは、社会の土台となる草の根レベルで築かなければなりません。この会議から学べる貴重な情報は、今後の生活の中で、地元地域で、そして世界で、争いを防いでいくために役立つものです」

さらに、人道的支援に熱心な女優シャロン・ストーンさんも講演し、思いやりと相互理解を育むために寛容な心をもつよう出席者に呼びかけました。

「今日の世界では、テクノロジーの発達のおかげで他国の文化や信仰について学びやすくなりました」とストーンさん。

「敵対する者をとりまく事情を理解できれば、対応策もより明らかになるものです」

と述べ、互いの違いを学び、受け入れあうことの重要性を訴えました。

ギャングに走った少年たちを支援しているロサンゼルスの団体、Homeboy Industries の代表、グレッグ・ボイル牧師も、少しずつ世界を変えているロータリーの活動を評価しました。「ロータリーは、人と人とを分け隔てている壁を取り除こうと決意しました」とボイス牧師。

「皆さん（ロータリー会員）は、社会の底辺にいる人を救い出すことによって、底辺そのものをなくすことの必要性を理解しています。皆さんは、貧しい人、社会的な弱者、尊厳を侵された人たちの側に立って活動しています」

平和と紛争解決の研究や実地研修を通じて平和構築に貢献できる人材を育てる「ロータリー平和フェローシップ」にもスポットライトが当てられました。戦争、暴力、不寛容に対する、いわばロータリー最大の武器となるこのプログラム。今回の会議にも数十人のロータリー平和フェロー（プログラム卒業生）が出席し、ロータリー平和センターやロータリークラブが平和にどう貢献できるかを語りました。中でも、最近クイーンズランド大学（オーストラリア）を卒業し、現在はアフリカと中東の団体にアドバイスをする米国のコンサルティング会社で働くクリストファー・ザンバカリさんは、今回の会議について「数多く行われている平和構築活動について、多くの人に知ってもらうチャンス」と話します。

「平和については、母国側の視点だけで捉えている人が少なくありません。（中略）今回のような会議は、平和実現に向けた多くの可能性を開くものです」

ロータリー世界平和会議で「ピース」サインをする女優シャロン・ストーンさん
写真提供 Ryan Hyland